

2022 年度  
創発的研究支援事業 年次報告書

研究担当者	前田恵理
研究機関名	秋田大学
所属部署名	大学院医学系研究科
役職名	准教授
研究課題名	未婚男性への教育介入は精液所見と将来の出生力を改善するか
研究実施期間	2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

### 研究成果の概要

#### ① 調査の進捗状況

秋田県内の 5 事業所の協力を得て、418 名の参加登録を得た。昨年度、文献レビューに基づき作成した介入教材（動画とニュースレター）による定期的な介入と追跡調査、1 年後調査も実施し、現時点では 1 年後までの追跡率は 70%を上回っている。来年度も追跡調査を実施していく。

#### ② 精液検査所見と関連する要因に関する横断分析

参加者の年齢（平均±SD）は 30.4±4.8 歳であった。精液所見の提出があった 380 名の一般精液検査所見は中央値（5-95 パーセンタイル値）は精液量 3.4（1.0-6.9）ml，濃度 70.1（13.1-263.3）百万/mL，総精子数 252.6（31.9-874.2）百万，総精子運動率 70.8（29.0-91.7）%，前進運動率 58.5（21.9-81.7）%と WHO による世界の 3500 名のデータ分布とほぼ一致していた。現在、精子機能検査も実施しており、合わせて生活習慣との関連について分析を行っていく。

#### ③ 介入の短期的効果に関する検討

来年度、1 年後調査の結果が出そろったところで介入の短期的効果（知識、行動、健診結果、精液検査結果）について検討を行う。